

## 【薬剂】

出題の範囲(薬学教育モデル・コアカリキュラム、実務実習モデル・コアカリキュラムに沿って整理したもの)

※網掛け部分は、モデル・コアカリキュラムの到達目標において「技能」、「態度」が記されているもの

大項目	中項目	小項目	小項目の例示		
675	C13 薬の効くプロセス	(1)薬の作用と生体内運命	薬の運命		
676			薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わり		
677			薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)(列挙)、その意義		
678			経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)		
679			薬物の生体内分布における循環系の重要性		
726			(4)薬物の臓器への到達と消失	吸収	生体内の薬物の主要な排泄経路(例示)
727					薬物の主な吸収部位(列挙)
728					消化管の構造、機能と薬物吸収の関係
729					受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴
730					能動輸送の特徴
731	非経口投与後の部位別の薬物吸収				
732	薬物の吸収に影響する因子(列挙)				
733	分布	薬物が生体内に取り込まれた後に組織間で濃度差が生じる要因			
734	薬物の脳への移行の機構と血液-脳関門の意義				
735	薬物の胎児への移行の機構と血液-胎盤関門の意義				
736	薬物の体液中での存在状態(血漿タンパク結合など)、組織への移行との関連性				
737	薬物分布の変動要因(血流量、タンパク結合性、分布容積など)				
738	分布容積が著しく大きい代表的な薬物(列挙)				
739	代表的な薬物のタンパク結合能を測定できる				
740		代謝	薬物分子の体内での化学的変化とそれが起こる部位(列挙)		
741			薬物代謝が薬効に及ぼす影響		
742			薬物代謝様式とそれに関わる代表的な酵素(列挙)		
743			シトクロムP-450の構造、性質、反応様式		
744			薬物の酸化反応(具体例)		
745			薬物の還元・加水分解、抱合(具体例)		
746			薬物代謝酵素の変動要因(誘導、阻害、加齢、SNPsなど)		
747			初回通過効果		
748				排泄	肝および固有クリアランス
749					腎における排泄機構
750	腎クリアランス				
751	糸球体ろ過速度				
752	胆汁中排泄				
753	腸肝循環、代表的な腸肝循環の薬物(列挙)				
754	唾液・乳汁中への排泄				
755	尿中排泄率の高い代表的な薬物(列挙)				
756	(5)薬物動態の解析	薬動学			薬物動態に起因する相互作用(代表例)、回避のための方法
757					薬効に起因する相互作用(代表例)、回避のための方法
758			薬物動態に関わる代表的なパラメーター(列挙)		
759			薬物の生物学的利用能の意味とその計算法		
760			線形1コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる		
761			線形2コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる		
762			線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違い		
763			生物学的半減期を説明し、計算できる		
764			全身クリアランスについて説明し、計算できる		
765			非線形性の薬物動態(具体例)		
766	モデルによらない薬物動態の解析法(列挙)				
767	薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる				
			点滴静注の血中濃度計算ができる		

768			連続投与における血中濃度計算ができる
769		TDM(Therapeutic Drug Monitoring)	治療的薬物モニタリング(TDM)の意義
770			TDMが必要とされる代表的な薬物(列挙)
771			薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる
772			至適血中濃度を維持するための投与計画、薬動学的パラメーター
773			代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる
945	C16 製剤化のサイエンス	(1)製剤材料の性質	物質の溶解
946			溶液の濃度と性質
947			物質の溶解とその速度
948			溶解した物質の膜透過速度
949			物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割
950			分散系
951			界面の性質
952			代表的な界面活性剤の種類と性質
953			乳剤の型と性質
954			代表的な分散系(列挙)とその性質
955			分散粒子の沈降現象
956			流動と変形(レオロジー)の概念、代表的なモデル
957			高分子の構造と高分子溶液の性質
958			製剤分野で汎用されている高分子の物性
959			粉体の性質
960			製剤材料としての分子集合体
961			薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法(列挙)
962			粉末X線回折測定法の原理と利用法
963			製剤材料の物性を測定できる
964		(2)剤形をつくる、	代表的な剤形の種類と特徴
965			代表的な固形剤の種類と性質
966			代表的な半固形剤の種類と性質
967			代表的な液状剤の種類と性質
968			代表的な無菌製剤の種類と性質
969			エアゾール剤とその類似製剤
970			代表的な製剤添加物の種類と性質
971			代表的な製剤の有効性と安全性評価法
972			製剤化
973			製剤化の単位操作および汎用される製剤機械
974			単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製する
975			汎用される容器、包装の種類や特徴
976			製剤試験法
977			日本薬局方の製剤に関連する試験法(列挙)
978			日本薬局方の製剤に関する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる
979		(3)DDS(薬物送達システム)	DDSの必要性
980			従来の医薬品製剤の有効性、安全性、信頼性における主な問題点(列挙)
981			DDSの概念と有用性
982			放出制御型製剤
983			放出制御型製剤(徐放性製剤を含む)の利点
984			代表的な放出制御型製剤(列挙)
985			代表的な徐放性製剤における徐放化の手段
986			徐放性製剤に用いられる製剤材料の種類と性質
			経皮投与製剤の特徴と利点
			腸溶製剤の特徴と利点
			ターゲティング
			ターゲティングの概要と意義
			代表的なドラッグキャリアー(列挙)、そのメカニズム
			プロドラッグ
			代表的なプロドラッグ(列挙)、そのメカニズムと有用性
			その他のDDS
			代表的な生体膜透過促進法

## 【病態・薬物治療】

出題の範囲(薬学教育モデル・コアカリキュラム、実務実習モデル・コアカリキュラムに沿って整理したもの)

※網掛け部分は、モデル・コアカリキュラムの到達目標において「技能」、「態度」が記されているもの

大項目	中項目	小項目	小項目の例示
774	C14 薬物治療	(1)体の変化を知る	症候 以下の症候が生じる原因とそれらを伴う代表的疾患 症候：発熱、頭痛、発疹、黄疸、チアノーゼ、脱水、浮腫、悪心・嘔吐、嚥下障害、腹痛・下痢、便秘、腹部膨満、貧血、出血傾向、胸痛、心悸亢進、動悸、高血圧、低血圧、ショック、呼吸困難、咳、口渇、月経異常、痛み、意識障害、運動障害、知覚障害、記憶障害、しびれ、けいれん、血尿、頻尿、排尿障害、視力障害、聴力障害、めまい
775			
776		症候と臨床検査値	代表的な肝臓機能検査(列挙)、その検査値の異常から推測される主な疾病(列挙)
777			代表的な腎臓機能検査(列挙)、その検査値の異常から推測される主な疾病(列挙)
778			代表的な呼吸機能検査(列挙)、その検査値の異常から推測される主な疾病(列挙)
779			代表的な心臓機能検査(列挙)、その検査値の異常から推測される主な疾病(列挙)
780			代表的な血液および血液凝固検査(列挙)、その検査値の異常から推測される主な疾病(列挙)
781			代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査(列挙)、その検査値の異常から推測される主な疾病(列挙)
782			感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査値の変動
783			悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査(列挙)、推測される腫瘍部位(列挙)
784			尿および粪便を用いた代表的な臨床検査(列挙)、その検査値の異常から推測される主な疾病(列挙)
785			動脈血ガス分析の検査項目(列挙)、その検査値の臨床的意義
786			代表的なバイタルサイン(列挙)
787		(2)疾患と薬物治療(心臓疾患等)	薬物治療の位置づけ 代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療(外科手術、食事療法など)の位置づけ
788			適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる
789		心臓・血管系の疾患	心臓および血管系における代表的な疾患(列挙)
790			不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
791			心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
792			高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
793			虚血性心疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
794			疾患：閉塞性動脈硬化症、心原性ショック
795		血液・造血系の疾患	血液・造血器における代表的な疾患(列挙)
796			貧血の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
797			白血球の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
798			播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
799			疾患：血友病、悪性リンパ腫、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓
800		消化器系疾患	消化器系の部位別(食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓)の代表的な疾患(列挙)
801			消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
802			腸炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
803			肝炎・肝硬変の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
804			膵炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
805			疾患：食道癌、胃癌、肝癌、大腸癌、胃炎、薬剤性肝障害、胆石症、虫垂炎、クローン病
806		総合演習	指定された症事例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考察することができる
807		(3)疾患と薬物治療(腎臓疾患等)	腎臓および尿路における代表的な疾患(列挙)
808			腎不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
809			ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
810			疾患：糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石
811		生殖器疾患	男性および女性生殖器に関する代表的な疾患(列挙)
812			前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
813			疾患：前立腺癌、異常妊娠、異常分娩、不妊、子宮癌、子宮内腺症
814		呼吸器・胸部の疾患	肺と気道に関する代表的な疾患(列挙)
815			閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意

816			疾患：上気道炎(かぜ症候群)、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患、肺炎、肺結核、肺癌、乳癌
817		内分泌系疾患	ホルモンの産生臓器別に代表的な疾患(列挙)
818			甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
819			クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
820			尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
821			疾患：上皮小体機能異常症、アルドステロン症、アジソン病
822		代謝性疾患	糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
823			高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
824			高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
825		神経・筋の疾患	神経・筋に関する代表的な疾患(列挙)
826			脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
827			てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
828			パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
829			アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
830			疾患：重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆
831		総合演習	指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる
832	(4)疾患と薬物治療(精神疾患等)	精神疾患	代表的な精神疾患(列挙)
833			統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
834			うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
835			疾患：神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症
836		耳鼻咽喉の疾患	耳鼻咽喉に関する代表的な疾患(列挙)
837			めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
838			疾患：メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎
839		皮膚疾患	皮膚に関する代表的な疾患(列挙)
840			アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
841			皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
842			疾患：尋麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症
843		眼疾患	眼に関する代表的な疾患(列挙)
844			緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
845			白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
846			疾患：結膜炎、網膜症
847		骨・関節の疾患	骨・関節に関する代表的な疾患(列挙)
848			骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
849			慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
850			疾患：変形性関節症、骨軟化症
851		アレルギー・免疫疾患	代表的なアレルギー・免疫に関する疾患(列挙)
852			アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
853			自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
854			後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
855		移植医療	移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意
856		緩和ケアと長期療養	癌性疼痛に対して使用される薬物(列挙)、使用上の注意
857			長期療養に付随する合併症(列挙)、その薬物治療
858		総合演習	指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる
859	(5)病原微生物・悪性新生物と戦う	感染症	主な感染症(列挙)、その病態と原因
860		抗菌薬	抗菌薬の作用点に基づく分類
861			代表的な抗菌薬の基本構造
862			代表的なβ-ラクタム系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙)
863			テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)
864			マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)
865			アミノ配糖体系抗菌薬の抗菌スペクトルに基づく分類、有効な感染症(列挙)
866			ピリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症(列挙)

867			サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症(列挙)
868			代表的な抗結核薬(列挙)、作用機序
869			細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤(列挙)、その作用機序
870			代表的な抗菌薬の使用上の注意
871			特徴的な組織移行性を示す抗菌薬(列挙)
872		抗原虫・寄生虫薬	代表的な抗原虫・寄生虫薬(列挙)、作用機序および臨床応用
873		抗真菌薬	代表的な抗真菌薬(列挙)、作用機序および臨床応用
874		抗ウイルス薬	代表的な抗ウイルス薬(列挙)、作用機序および臨床応用
875			抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点(列挙)
876		抗菌薬の耐性と副作用	主要な化学療法薬の耐性獲得機構
877			主要な化学療法薬の主な副作用(列挙)、その症状
878		悪性腫瘍の病態と治療	悪性腫瘍の病態生理、症状、治療
879			悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけ
880			化学療法薬が有効な悪性腫瘍(治療例の列挙)
881		抗悪性腫瘍薬	代表的な抗悪性腫瘍薬(列挙)
882			代表的なアルキル化薬(列挙)、作用機序
883			代表的な代謝拮抗薬(列挙)、作用機序
884			代表的な抗腫瘍抗生物質(列挙)、作用機序
885			抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイド(列挙)、作用機序
886			抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬(列挙)、作用機序
887			代表的な白金錯体(列挙)、作用機序
888			代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造
889		抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用	主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構
890			主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用(列挙)、その症状
891			副作用軽減のための対処法
892	C15 薬物治療に役立つ情報	(1)医薬品情報	情報
893			医薬品として必須の情報(列挙)
894			医薬品情報に関わっている職種(列挙)とその役割
895			医薬品の開発過程で得られる情報の種類(列挙)
896			医薬品の市販後に得られる情報の種類(列挙)
897			医薬品情報に関する代表的な法律と制度
898		情報源	医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料
899			医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料(列挙)とそれらの特徴
900			厚生労働省、製薬企業などの発行する資料(列挙)とそれらの特徴
901			医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途
902			医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目(列挙)とその必要性
903			医薬品インタビューフォームの位置づけと用途
904			医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分け
905		収集・評価・加工・提供・管理	目的(効果効果、副作用、相互作用、薬剤相互作用、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる
906			医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目(列挙)
907			医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる
908			医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する
909			主な医薬品情報の提供手段(列挙)、それらの特徴
910		データベース	代表的な医薬品情報データベース(列挙)、それらの特徴
911			医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる
912			インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を説明できる
913		EBM(Evidence-Based Medicine)	EBMの基本概念と有用性
914			EBM実践のプロセス
915			臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所
916			メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる
917			真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違い
918			臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)
919		総合演習	医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目(列挙)
920		(2)患者情報	情報と情報源
			医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる
			薬物治療に必要な患者基本情報(列挙)

921			患者情報源の種類(列挙)、それぞれの違い
922		収集・評価・管理	問題志向型システム(POS)
923			薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる
924			患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる
925			得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する
926			SOAPなどの形式で患者記録を作成する
927			チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる
928			患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる
929	(3)テラーメイド薬物治療を目指して	遺伝的素因	薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因(例示)
930			薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因(例示)
931			遺伝的素因を考慮した薬物治療(例示)
932		年齢的要因	新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点
933			幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点
934			高齢者に対する薬物治療で注意すべき点
935		生理的要因	生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点
936			授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点
937			栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点
938		合併症	腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点
939			肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点
940			心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点
941		投与計画	患者固有の薬動的パラメーターを用いて投与計画ができる
942			ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用
943			薬動学的パラメーターを用いて投与計画ができる
944			薬物作用の日内変動を考慮した用法

【法規・制度・倫理】

出題の範囲(薬学教育モデル・コアカリキュラム、実務実習モデル・コアカリキュラムに沿って整理したもの)

※網掛け部分は、モデル・コアカリキュラムの到達目標において「技能」、「態度」が記されているもの

大項目	中項目	小項目	小項目の例示
987	C17 医薬品の開発と生産	(1)医薬品開発と生産のながれ	医薬品開発を計画する際に考慮すべき因子(列挙)
988			疾病統計により示される日本の疾病の特徴
989		医薬品市場と開発すべき医薬品	医療用医薬品で日本市場及び世界市場での売上高上位の医薬品(列挙)
990			新規医薬品の価格を決定する要因
991			ジェネリック医薬品の役割
992			希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ)開発の重要性
993		非臨床試験	非臨床試験の目的と実施概要
994		医薬品の承認	臨床試験の目的と実施概要
995			医薬品の販売承認申請から承認までのプロセス
996			市販後調査の制度とその意義
997			医薬品開発における国際的ハーモナイゼーション(ICH)
998		医薬品の製造と品質管理	医薬品の工業的規模での製造工程の特色の開発レベルのそれとの対比
999			医薬品の品質管理の意義と薬剤師の役割
1000			医薬品製造における環境保全に配慮すべき点とその対処法
1001		規範	GLP(Good Laboratory Practice), GMP(Good Manufacturing Practice), GCP(Good Clinical Practice), GPMSP(Good Post-Marketing Surveillance Practice)の概略と意義
1002		特許	医薬品創製における知的財産権
1003		薬害	代表的な薬害の例(サリドマイド、スモン、非加齢血液製剤、ソリブランなど)について、その原因と社会的背景を説明し、これを回避するための手段を討論する
1025	(4)治験	治験の意義と義務	治験に関してヘルシンキ宣言が意図するところ
1026			医薬品創製における治験の役割
1027			治験(第Ⅰ、ⅡおよびⅢ相)の内容
1028			公正な治験の推進を確保するための制度
1029			治験における被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉の重要性
1030			治験業務に携わる各組織の役割と責任
1031		治験における薬剤師の役割	治験における薬剤師の役割(治験薬管理者など)
1032			治験コーディネーターの業務と責任
1033			治験に際し、被験者に説明すべき項目(列挙)
1034			インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討論する
1035	(5)バイオスタティクス	生物統計の基礎	帰無仮説の概念
1036			パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分け
1037			主な二群間の平均値の差の検定法(t検定、Mann-Whitney U検定)について適用できるデータの特性説明し、実施できる
1038			$\chi^2$ 検定の適用できるデータの特性を説明し、実施できる
1039			最小二乗法による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる
1040			主な多重比較検定法(分散解析、Dunnnett検定、Tukey検定など)
1041			主な多変量解析の概要
1042		臨床への応用	臨床試験の代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ランダム化比較試験)の特色
1043			バイアスの種類と特徴
1044			バイアスを回避するための計画上の技法(盲検化、ランダム化)
1045			リスク因子の評価として、オッズ比、相対危険度および信頼区間について説明し、計算できる
1046			基本的な生存時間解析法(Kaplan-Meier曲線など)の特徴
1047	C18 薬学と社会	(1)薬剤師を取り巻く法律と制度	医療の担い手としての使命
1048			薬剤師の医療の担い手としての倫理的責任を自覚する
1049		法律と制度	医療過誤、リスクマネージメントにおける薬剤師の責任と職務を果たす
1050			薬剤師に関連する法令の構成
1051			薬事法の重要な項目(列挙)とその内容
1052			薬剤師法の重要な項目(列挙)とその内容
1053			薬剤師に関わる医療法の内容
1054			医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法などの関連法規と薬剤師の関わり
1055			医薬品による副作用が生じた場合の被害救済制度とその内容
1056		管理薬	製造物責任法
			麻薬及び向精神薬取締法、規制される代表的な医薬品(列挙)

1057			覚せい剤取締法、規制される代表的な医薬品(列挙)
1058			大麻取締法およびあへん法
1059			毒物及び劇物取締法
1060		放射性医薬品	放射性医薬品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度
1061			代表的な放射性医薬品(列挙)、その品質管理に関する試験法
1062	(2)社会保障制度と薬剤経済	社会保障制度	日本における社会保障制度のしくみ
1063			社会保障制度の中での医療保険制度の役割
1064			介護保険制度のしくみ
1065			高齢者医療保険制度のしくみ
1066		医療保険	医療保険の成り立ちと現状
1067			医療保険のしくみ
1068			医療保険の種類(列挙)
1069			国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点
1070		薬剤経済	国民医療費の動向
1071			保険医療と薬価制度の関係
1072			診療報酬と薬価基準
1073			医療費の内訳
1074			薬物治療の経済評価手法
1075			代表的な症例をもとに、薬物治療を経済的な観点から解析できる
1076	(3)コミュニティファーマシー	地域薬局の役割	地域薬局の役割(列挙)
1077			在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割
1078			学校薬剤師の役割
1079		医薬分業	医薬分業のしくみと意義
1080			医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する
1081			かかりつけ薬局の意義
1082		薬局の業務運営	保険薬剤師療養担当規則および保険医療費担当規則
1083			薬局の形態および業務運営ガイドライン
1084			医薬品の流通のしくみ
1085			調剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)
1086		OTC薬・セルフメディケーション	地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する
1087			主な一般用医薬品(OTC薬)(列挙)、使用目的
1088			漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品
1089	ヒューマニズム	① 生と死	生命の尊厳
1090			人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する
1091			誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点
1092			医療に関わる倫理的問題(列挙)、その概略と問題点
1093			死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点
1094		医療の目的	自らの体験を通して、生命の尊厳と医療の関わりについて討議する
1095		先進医療と生命倫理	予防、治療、延命、QOL
1096		② 医療の担い手としてのこころ構え	医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷
1097		社会の期待	医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける
1098			医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する
1099			医療の担い手にふさわしい態度を示す
1100		医療行為に関わるこころ構え	ヘルシンキ宣言の内容
1101			医療の担い手が守るべき倫理規範
1102			インフォームド・コンセントの定義と必要性
1103			患者の基本的権利と自己決定権を尊重する
1104		研究活動に求められるこころ構え	医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する
1105			研究に必要な独創的考え方や能力を醸成する
1106			研究者に求められる自立した態度を身につける
1107		医薬品の創製と供給に関わるこころ構え	他の研究者の意見を理解し、討議する能力を身につける
1108			医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける
1109		自己学習・生涯学習	医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現する
1110			医療に関わる諸問題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を醸成する
			医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する



1111		③ 信頼関係の確立を目指して	コミュニケーション	言語的および非言語的コミュニケーションの方法
1112				意思、情報の伝達に必要な要素(列挙)
1113				相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なること(例示)
1114			相手の気持ちに配慮する	対人関係に影響を及ぼす心理的要因
1115				相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する
1116				対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる
1117			患者の気持ちに配慮する	病気が患者に及ぼす心理的影響
1118				患者の心理状態を把握し、配慮する
1119				患者の家族の心理状態を把握し、配慮する
1120				患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する
1121				不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討論する
1122			チームワーク	チームワークの重要性(例示)
1123				チームに参加し、協調的態度で役割を果たす
1124				自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める
1125			地域社会の人々との信頼関係	薬の専門家と地域社会の関わり(列挙)
1126				薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討論する
1127	イントロダクション	①薬学への招待	薬学の歴史	薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割
1128				薬剤師の誕生と変遷の歴史
1129			薬剤師の活動分野	薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)
1130				薬剤師と共に働く医療チームの職種(列挙)、その仕事
1131				医薬品の適正使用における薬剤師の役割
1132				医薬品の創製における薬剤師の役割
1133				疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割
1134			薬について	「薬とは何か」
1135				薬の発見の歴史(具体例)
1136				化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れ
1137				種々の剤形とその使い方
1138				一般用医薬品と医療用医薬品の違い
1139			現代社会と薬学との接点	先端医療を支える医薬品開発の現状
1140				麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響
1141				薬害(具体例)、その背景
1142			日本薬局方	日本薬局方の意義と内容
1143			総合演習	医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる
1144				身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる
1145		②早期体験実習		病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する
1146				開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する
1147				製薬企業および保健衛生、健康に関わる行政機関の業務を見聞し、社会において果たしている役割について討論する
1148				保健、福祉の重要性を具体的な体験に基づいて発表する